

服飾文化共同研究報告書

共同研究番号 21011

装い行動が高齢者の QOL に及ぼす影響に関する研究

平成 21 年度－平成 22 年度

平成 23 年 5 月

研究代表者 安永明智

研究組織

安永明智（健康心理学）

文化学園大学（旧文化女子大学）・現代文化学部・応用健康心理学科・准教授

文化ファッション研究機構・研究員

野口京子（健康心理学）

文化学園大学（旧文化女子大学）・現代文化学部・応用健康心理学科・教授

文化ファッション研究機構・研究員

谷口幸一（老年心理学）

東海大学・健康科学部・社会福祉学科・教授

文化ファッション研究機構・研究員

I . 研究概要

1. 背景と目的

超高齢社会を迎えたわが国において、サクセスフル・エイジングやアクティブ・エイジングといった言葉に代表されるように、高齢期を積極的に過ごし、いつまでも健康的で幸福な老後を送ることは、少子高齢社会が急速に進行するわが国における重要な課題である。つまりは、単に長寿を全うするだけでなく、日常生活での生活の質（Quality of Life ; QOL）を高めていくことが高齢期の最大の目標となる。2006年4月に導入された介護予防制度においても、心身機能の改善や生活機能向上を図り、自己実現や生きがいづくりを促進していくことの重要性が示されている。

このような社会的背景を受け、内外の研究において、高齢期のQOLの概念やその維持・増進に寄与する要因についての研究が数多く実施されている。そして先行研究では、日常生活での服装や化粧などの装いに積極的な関心や態度を持つことが、高齢者のQOLの維持・増進に有効であることが報告されている。しかし、先行研究の大部分は、少数の事例を対象とした実証的研究であることや、調査研究に関しても、ある特定の高齢者集団（例えば、老人福祉施設などの入所者や老人クラブのメンバーなど）を対象としているためサンプリングに問題があるなどの課題が残る。加えて、日本はもとより欧米の研究においても、高齢者の装いへの関心や行動と心身の健康の関連に関する基礎的な調査データの蓄積はほとんどない。

そこで本研究は、装い行動が、高齢者のQOLにどのような影響を与えるのかについて、質問紙調査法による定量的アプローチと自由記述式調査による定性的アプローチの異なる2つの研究手法を用いて検討することを目的とした。高齢者のQOLの構成概念は、多岐にわたっているが、本研究では、高齢者のQOLを生きがい感や抑うつで評価されるメンタルヘルス、活動能力と操作的に定義した。

2. 要旨

平成 21 年度は、全国の高齢者を対象に、郵送法による質問紙調査法を用いて、服装や流行への関心と外出着の着装基準、外出の頻度、ボランティアや町内会活動への参加、QOL との関係性を横断的に検討することを目的とした。2010 年 1 月に全国の 70 歳以上の高齢者 850 名に調査票を郵送し、568 名（男性 274 名；平均年齢 76.0±4.4 歳、女性 294 名；平均年齢 75.8±4.7 歳）から回答が得られた。調査は、自分や他人の服装への関心、流行への関心、外出着の着装基準、外出の頻度、ボランティアや町内会活動への参加、生きがい、抑うつ、活動能力について質問した。分析の結果から、（1）高齢女性は、高齢男性と比較して、自分及び他人の服装への関心や流行への関心が高く、外出着の着装基準においても、個人的服装嗜好、流行、機能性、社会的服装規範を重視すること、（2）服装や流行への関心が高い高齢者は、低い高齢者と比較して、外出着の着装基準において、個人的服装嗜好や流行、機能性、社会的規範を重視すること、（3）服装や流行への関心が高い高齢者は、低い高齢者と比較して、町内会活動やボランティア活動に積極的に参加していること、そして活動能力や生きがい感も高く、メンタルヘルスも良いこと、などが明らかにされた。

平成 22 年度は、自由記述式の質問紙調査や高齢者ファッションショーの視察及び参加者への調査により得られた定性的データから、装いへの関心や行動が高齢者の QOL にどのような影響を与えるのか、また高齢者にとってファッションの持つ意味について検討することを目的とした。対象者は、65 歳以上の高齢者 216 名（男性 110 名；平均年齢 70.6±3.8 歳、女性 106 名；平均年齢 69.5±4.1 歳）、比較対照群としての 20-39 歳までの若年者 209 名（男性 109 名；平均年齢 32.3±5.4 歳、女性 100 名；平均年齢 32.0±5.2 歳）、40-59 歳までの中年者 217 名（男性 108 名；平均年齢 49.3±6.7 歳、女性 109 名；平均年齢 47.4±6.1 歳）であった。「あなたにとってファッションとはどういう意味をもちますか」という質問に対する自由記述回答から、単語及びその単語を係り受ける語の組み合わせを抽出し、出現数別にランキング化した結果、高齢男性において、出現数の多かった単語の上位 3 つは、「身だしなみ」「自分」「表現」であった。一方、高齢女性では、「自分」「表現」「もの」が上位を

占めた。また、単語と係り受け語の組み合わせとしては、高齢男性では、「自己+表現」「個性+表現」「意味+持つ」が、高齢女性では、「自分+表現」「自分+個性」「個性+表現」が上位であった。

更に、2010年12月12日に兵庫県姫路市で開催された「こだわりシニアファッションショー」を視察し、参加高齢者のショーへの参加動機や参加後の心理的变化などについて調査した結果、ファッションショーへの参加動機は、「思い出づくり」「ファッションに関心がある」「多くの人との交流を求めて」「自分を表現してみたい」「自分が楽しむため」「新しい事への挑戦」「友人・知人・家族のすすめで」などであった。また、参加した感想としては、「良い思い出となった」「楽しかった」「メイクもばっちりしてもらい幸せだった」「若返った」などの肯定的意見がほとんどであった。最後にあなたにとってのファッションとはどう意味をもつかについては、「楽しみ」「自分らしさの表現」「夢と憧れ」「元気で生きている証」「生活するうえの一部」「大切なもの」「自分をみせるもの」「自己満足」「空気とか食事のようなもの」「命の次に大切なもの」「若返れる秘訣」「心を豊かにするもの」「自己主張」などの意見がみられた。

本研究の結果は、装いへの関心や行動が、高齢期のQOLの維持・増進に対して貢献する重要な手段になることを示唆する。

II. 研究結果

1. 高齢者の装いへの関心や行動と QOL の関連（定量データによる検討）

1-1. 目的

本研究は、全国の高齢者を対象に、郵送法による質問紙調査法を用いて、服装や流行への関心と外出着の着装基準、外出の頻度、ボランティアや町内会活動への参加、QOL との関連を横断的に検討することを目的とした。

1-2. 方法

1-2-1. 調査対象と手続き

2010 年 1 月に全国の 70 歳以上の高齢者を対象に、装い行動と QOL に関する質問紙調査を実施した。調査は、NTT レゾナント株式会社 goo リサーチに依頼し、全国に登録されている調査モニターより、70 歳以上の高齢者 850 名に調査票を郵送した。有効回答数は、568 名（男性 274 名；平均年齢 76.0±4.4 歳、女性 294 名；平均年齢 75.8±4.7 歳）であった（有効回答率 66.8%）。

1-2-2. 調査内容

（1）服装への関心と外出着の着装基準

服装への関心は、自分の服装、他人の服装、流行への関心の程度について、「非常に関心がある」「ある程度は関心がある」「あまり関心がない」「全く関心がない」の 4 件法で回答を求めた。分析に際しては、「非常に関心がある」（男性 4.7%、女性 15.7%）と「全く関心がない」（男性 6.2%、女性 1.7%）と答えた者が少数であったため、「非常に関心がある・ある程度は関心がある」と「あまり関心がない・全く関心がない」の 2 つのカテゴリーに再分類した。外出着の着装基準は、高齢者版着装基準尺度（田中・秋山・泉・上野・西川・吉川、1998）を用いて評価した。本尺度は、「個人的服装嗜好」「流行」「機能性」「社会的

服装規範」の 4 つの下位因子から構成されており、得点が高いほど着装行動において、その基準を重視することを意味する。

(2) 活動状況及び活動能力

活動状況は、外出の頻度（ほとんど毎日、週に 4・5 日、週に 2・3 日、週に 1 日程度、全くなし）とボランティア活動や町内会活動への参加（参加している、参加していない）で測定した。また活動能力は、老研式活動能力指標（古谷野・柴田・中里・芳賀・須山、1987）で評価した。老研式活動能力指標は「手段的自立因子」（5 項目）、「知的能動性因子」（4 項目）、「社会的自立因子」（4 項目）の 3 因子 13 項目から構成されており、「はい」（1 点）「いいえ」（0 点）の 2 件法で回答を求める。合計得点が高いほど活動能力が高いことを示す。

(3) 生きがいと抑うつ

生きがい感は、高齢者向け生きがい感スケール（K-1 式）（近藤・鎌田、2003）を用いて評価した。本尺度は、16 項目で構成されており、「自己実現と意欲」「存在感」「生活充実感」「生きる意欲」などで表せる生きがい感を測定することができる。「はい」（2 点）、「どちらでもない」（1 点）、「いいえ」（0 点）の 3 件法で評価し、16 項目の合計を生きがい得点とした。合計得点が高いほど、生きがい感が高いことを意味する。抑うつの評価に関しては、老人用うつスケール短縮版（Geriatric Depression Scale ; GDS 短縮版）（矢富、1994）を用いた。本尺度は、15 項目で構成されており、「はい」「いいえ」の 2 件法で評価する。否定的な回答に得点 1 を与え、15 項目の合計を GDS 得点とした。合計得点が高いほど、抑うつが高いことを示す。

1-2-3. 分析方法

各変数のデータについては、連続変数は平均値±標準偏差（回答数）、離散変数は回答数

(割合；%)で示した。服装への関心の程度と連続変数の関係は、満年齢を調整した共分散分析を用いて、服装への関心と離散変数の関係は、フィッシャーの正確確率検定及び χ^2 検定で分析した。欠損値は、分析毎に除外した。全ての分析は、Statistical Package for Social Science 16.0 (SPSS Inc., Chicago, IL)を用いて実施し、5%未満を有意水準として採用した。

1-3. 結果

1-3-1. 対象者の特徴

対象者の特徴は、表 1-1 に示す通りである。自分の服装への関心、他人の服装への関心、流行への関心、外出着の選択基準の個人的服装嗜好得点、流行得点、機能性得点、社会的服装規範得点、老研式活動能力指標の社会的自立因子得点に統計学的に有意な性差が示された。自分及び他人の服装や流行への関心については、女性が男性と比較して、「非常に関心がある」「関心がある」と答えた者の割合が多く、「あまり関心がない」「まったく関心がない」と答えた者の割合が少なかった。同様に、外出着の選択基準の個人的服装嗜好、流行、機能性、社会的服装規範、老研式活動能力指標の社会的自立因子の全てで、女性が男性よりも高い得点を示した。

1-3-2. 自分の服装への関心と各変数の関係

自分の服装への関心と各変数の関係を表 1-2 に示した。男女とも、自分の服装に「関心がある・ある程度は関心がある」と答えた者が、「あまり関心がない・全く関心がない」と答えた者と比較して、高齢者版着装基準尺度の全ての下位因子得点（男性の機能性得点を除く）、老研式活動能力指標の合計得点と全ての下位因子得点、生きがい得点が、統計学的に有意に高かった。また、ボランティアや町内会活動への参加の割合も高かった。GDS に関しては、「あまり関心がない・全く関心がない」と答えた者が、「関心がある・ある程度は関心がある」と答えた者よりも高い得点を示し、抑うつ傾向が強いことが示された。

1-3-3. 他人の服装への関心と各変数の関係

他人の服装への関心と各変数の関係を表 1-3 に示した。男女とも、他人の服装に「関心がある・ある程度は関心がある」と答えた者が、「あまり関心がない・全く関心がない」と答えた者と比較して、高齢者版着装基準尺度の全ての下位因子得点（女性の機能性得点を除く）、老研式活動能力指標の合計得点と全ての下位因子得点、生きがい得点が、統計学的に有意に高かった。また、ボランティアや町内会活動への参加の割合も高かった。GDS に関しては、「あまり関心がない・全く関心がない」と答えた高齢者が、「関心がある・ある程度は関心がある」と答えた者よりも高い得点を示し、うつ傾向が強いことが示された。

1-3-4. 流行への関心と各変数の関係

流行への関心と各変数の関係を表 1-4 に示した。男女とも、流行に「非常に関心がある・ある程度は関心がある」と答えた者が、「あまり関心がない・全く関心がない」と答えた者と比較して、高齢者版着装基準尺度の全ての下位因子得点（女性の機能性得点を除く）、老研式活動能力指標の合計得点と全ての下位因子得点（女性的手段的自立因子得点を除く）、生きがい得点が、統計学的に有意に高かった。また、ボランティアや町内会活動への参加の割合も高かった。GDS 得点に関しては、「あまり関心がない・全く関心がない」と答えた者が、「関心がある・ある程度は関心がある」と答えた者よりも高い得点を示し、うつ傾向が強いことが示された。加えて、男性では、他人の服装への関心の程度が高い者ほど外出の頻度が多かった。

表 1-1. 対象者の特徴

	男性	女性	
年齢 1) a)	76.0±4.4 (274)	75.8±4.7 (294)	
自分の服装への関心 2), b)			
非常に関心がある	13 (4.7)	46 (15.7)	
ある程度は関心がある	154 (56.2)	191 (65.2)	**
あまり関心がない	90 (32.8)	51 (17.4)	
まったく関心がない	17 (6.2)	5 (1.7)	
他人の服装への関心 2), b)			
非常に関心がある	7 (2.6)	23 (7.8)	
ある程度は関心がある	104 (38.0)	186 (63.5)	**
あまり関心がない	137 (50.0)	74 (25.3)	
まったく関心がない	26 (9.5)	10 (3.4)	
流行への関心 2), b)			
非常に関心がある	5 (1.8)	17 (5.8)	
ある程度は関心がある	90 (32.8)	162 (55.3)	**
あまり関心がない	147 (53.6)	95 (32.4)	
まったく関心がない	32 (11.7)	19 (6.5)	
服装(外出着)選択の基準 1), a)			
個人的服装嗜好得点	22.9±4.5 (272)	24.4±4.3 (286)	**
流行得点	10.0±3.2 (272)	11.1±2.8 (291)	**
機能性得点	13.5±2.8 (272)	14.8±2.7 (287)	**
社会的服装規範得点	11.5±2.6 (272)	12.1±2.4 (289)	**
外出の頻度 2), b)			
ほとんど毎日	57 (21.1)	49 (16.8)	
週に4,5日	49 (18.1)	58 (19.9)	
週に2,3日	71 (26.3)	93 (31.8)	n.s.
週に1日程度	54 (20.0)	58 (19.9)	
全くなし	39 (14.4)	34 (11.6)	
ボランティアや町内会活動への参加 2), c)			
参加している	94 (34.7)	79 (27.1)	n.s.
参加していない	177 (65.3)	212 (72.9)	
老研式活動能力指標 1), a)			
手段的自立得点	4.4±1.4 (273)	4.5±1.3 (289)	n.s.
知的能動性得点	3.5±0.9 (272)	3.5±0.9 (293)	n.s.
社会的自立得点	2.9±1.3 (273)	3.1±1.2 (291)	*
合計得点	10.7±3.0 (271)	11.0±2.8 (287)	n.s.
GDS得点 1), a)	3.9±3.6 (266)	4.3±3.6 (271)	n.s.
生きがい得点 1), a)	40.6±6.8 (267)	41.0±6.7 (274)	n.s.

1); 平均値±標準偏差(標本数), 2); 回答数(%)

a); 対応のないt検定, b); χ^2 検定, c); フィッシャーの正確確率検定

*; <.05, **; <.01, n.s.; not significant.

表1-2. 自分の服装への関心と各変数の関係

	男性			女性		
	非常に関心がある・ ある程度は関心がある	あまり関心がない・ 全く関心がない		非常に関心がある・ ある程度は関心がある	あまり関心がない・ 全く関心がない	
外出時の着装の基準 1), a)						
個人的服装嗜好得点	24.5±4.0 (166)	20.3±3.9 (106)	**	25.3±3.9 (232)	20.5±3.8 (54)	**
流行得点	11.5±2.8 (166)	7.8±2.2 (106)	**	11.7±2.5 (235)	8.3±2.2 (56)	**
機能性得点	13.7±2.6 (166)	13.2±3.1 (106)	n.s.	14.9±2.7 (231)	14.1±2.5 (56)	*
社会的服装規範得点	12.2±2.4 (167)	10.3±2.4 (106)	**	12.4±2.3 (233)	10.8±2.6 (56)	**
外出の頻度 2), c)						
ほとんど毎日	43 (26.2)	14 (13.2)		41 (17.4)	8 (14.3)	
週に4,5日	31 (18.9)	18 (17.0)		45 (19.1)	13 (23.2)	
週に2,3日	38 (23.2)	33 (31.1)	n.s.	74 (31.5)	18 (32.1)	n.s.
週に1日程度	30 (18.3)	24 (22.6)		48 (20.4)	10 (17.9)	
全くなし	22 (13.4)	17 (16.0)		27 (11.5)	7 (12.5)	
ボランティアや町内会活動への参加 2), b)						
参加している	68 (41.2)	26 (24.5)	**	71 (69.7)	8 (14.3)	*
参加していない	92 (58.8)	80 (75.5)		163 (30.3)	48 (85.7)	
老研式活動能力指標 1), a)						
手段的自立得点	4.7±0.9 (166)	3.9±1.8 (107)	**	4.7±1.0 (233)	3.8±2.0 (55)	**
知的能動性得点	3.7±0.6 (166)	3.1±1.1 (106)	**	3.6±0.7 (236)	3.0±1.3 (56)	**
社会的自立得点	3.2±1.0 (166)	2.4±1.4 (107)	**	3.3±0.9 (234)	2.2±1.5 (56)	**
合計得点	11.6±2.0 (166)	9.3±3.7 (106)	**	11.6±2.1 (231)	8.9±4.0 (56)	**
GDS得点 1), a)	3.2±3.5 (162)	4.9±3.6 (104)	**	3.7±3.2 (214)	6.5±4.1 (56)	**
生きがい得点 1), a)	42.1±6.0 (163)	38.2±7.2 (104)	**	42.3±5.5 (219)	35.7±8.2 (54)	**

1); 平均値±標準偏差(回答数), 2); 回答数(%)

a); 年齢を調整した共分散分析, b); フィッシャーの正確確率検定, c); χ^2 検定

*; <.05, **; <.01, n.s.; not significant.

表 1-3. 他人の服装への関心と各変数の関係

	男性			女性		
	非常に関心がある・ ある程度は関心がある	あまり関心がない・ 全く関心がない		非常に関心がある・ ある程度は関心がある	あまり関心がない・ 全く関心がない	
外出時の着装の基準 1), a)						
個人的服装嗜好得点	25.2±4.3 (111)	21.2±3.8 (161)	**	25.4±4.1 (205)	22.0±4.0 (81)	**
流行得点	12.0±3.0 (110)	8.7±2.5 (162)	**	11.9±2.6 (207)	9.1±2.3 (84)	**
機能性得点	14.2±2.5 (110)	13.0±2.9 (162)	**	14.8±2.6 (203)	14.6±2.9 (84)	n.s.
社会的服装規範得点	12.9±2.4 (111)	10.5±2.2 (162)	**	12.5±2.2 (205)	11.0±2.5 (84)	**
外出の頻度 2), c)						
ほとんど毎日	32 (29.4)	25 (15.5)		34 (16.3)	15 (18.1)	
週に4,5日	17 (15.6)	32 (19.9)		39 (18.8)	19 (22.9)	
週に2,3日	26 (23.9)	45 (28.0)	n.s.	70 (33.7)	22 (26.5)	n.s.
週に1日程度	22 (20.2)	32 (19.9)		44 (21.2)	14 (16.9)	
全くなし	12 (11.0)	27 (16.8)		21 (10.1)	13 (15.7)	
ボランティアや町内会活動への参加 2), b)						
参加している	52 (47.3)	42 (26.1)	**	66 (32.0)	13 (15.5)	**
参加していない	58 (52.7)	119 (73.9)		140 (68.0)	71 (84.5)	
老研式活動能力指標 1), a)						
手段的自立得点	4.8±0.8 (110)	4.2±1.6 (163)	**	4.7±0.9 (205)	4.0±1.9 (83)	**
知的能動性得点	3.8±0.6 (110)	3.3±1.0 (162)	**	3.6±0.7 (208)	3.1±1.2 (84)	**
社会的自立得点	3.3±0.9 (110)	2.6±1.4 (163)	**	3.3±0.9 (207)	2.6±1.5 (83)	**
合計得点	11.9±1.8 (110)	10.0±3.4 (162)	**	11.6±1.9 (204)	9.6±3.9 (82)	**
GDS得点 1), a)	3.2±3.4 (106)	4.3±3.7 (160)	*	3.7±3.1 (191)	5.7±4.3 (79)	**
生きがい得点 1), a)	43.1±5.1 (109)	38.8±7.2 (158)	**	42.4±5.4 (191)	37.7±8.1 (82)	**

1); 平均値±標準偏差(回答数), 2); 回答数(%)

a); 年齢を調整した共分散分析, b); フィッシャーの正確確率検定, c); χ^2 検定

表 1-4. 流行への関心と各変数の関係

	男性			女性		
	非常に関心がある・ ある程度は関心がある	あまり関心がない・ 全く関心がない		非常に関心がある・ ある程度は関心がある	あまり関心がない・ 全く関心がない	
外出時の着装の基準 1), a)						
個人的服装嗜好得点	25.0±4.7 (95)	21.7±3.9 (177)	**	25.6±4.1 (175)	22.6±3.9 (111)	**
流行得点	12.5±2.9 (94)	8.7±2.5 (178)	**	12.2±2.5 (177)	9.3±2.2 (114)	**
機能性得点	14.2±2.6 (95)	13.1±2.8 (177)	**	14.9±2.5 (174)	14.6±2.9 (113)	n.s.
社会的服装規範得点	12.7±2.6 (95)	10.8±2.3 (178)	**	12.6±2.3 (176)	11.2±2.3 (113)	**
外出の頻度 2), c)						
ほとんど毎日	29 (31.2)	28 (15.8)		30 (16.9)	19 (16.8)	
週に4,5日	13 (14.0)	36 (20.3)		30 (16.9)	28 (24.8)	
週に2,3日	24 (25.8)	47 (26.6)	*	61 (34.3)	31 (27.4)	n.s.
週に1日程度	15 (16.1)	39 (22.0)		38 (21.3)	20 (17.7)	
全くなし	12 (12.9)	27 (15.3)		19 (10.7)	15 (13.3)	
ボランティアや町内会活動への参加 2), b)						
参加している	49 (52.1)	45 (25.4)	**	60 (34.1)	19 (16.7)	**
参加していない	45 (47.9)	132 (74.6)		116 (65.9)	95 (83.3)	
老研式活動能力指標 1), a)						
手段的自立得点	4.8±0.7 (94)	4.2±1.6 (179)	**	4.8±0.8 (175)	4.1±1.8 (113)	**
知的能動性得点	3.8±0.5 (93)	3.3±1.0 (179)	**	3.7±0.7 (178)	3.2±1.1 (114)	**
社会的自立得点	3.4±0.9 (94)	2.6±1.3 (179)	**	3.4±0.9 (177)	2.6±1.3 (113)	**
合計得点	12.1±1.7 (93)	10.0±3.3 (179)	**	11.8±1.7 (174)	9.8±3.6 (112)	**
GDS得点 1), a)	2.7±2.8 (90)	4.5±3.8 (176)	**	3.3±2.9 (164)	5.7±4.1 (106)	**
生きがい得点 1), a)	43.3±4.8 (93)	39.1±7.2 (174)	**	42.7±5.4 (163)	38.5±7.6 (110)	**

1); 平均値±標準偏差(回答数), 2); 回答数(%)

a); 年齢を調整した共分散分析, b); フィッシャーの正確確率検定, c); χ^2 検定

*; <.05, **; <.01, n.s.; not significant.

1-4. 考察

先行研究では、女性は男性と比較して、服装への関心が高いことが報告されている（箱井ら、2000；岡田、2000；劉・全、2005）。例えば、高齢者の衣生活行動を検討した岡田（2000）の研究では、被服購入や選択行動への関わり方は、女性は積極的であるのに対して、男性は無関心で他人まかせで消極的であることが報告されている。同様に、箱井ら（2000）の研究においても、服を買いに出かけ、流行を先取りするなどの流行への関心は、高齢男性よりも高齢女性の方が高いことが明らかにされている。本研究の結果も先行研究の知見を支持し、女性は、男性と比較して、服装や流行への関心が高く、外出着の着装基準においても、個人的服装嗜好、流行、機能性、社会的服装規範の全てを重視していた。

次に、服装や流行への関心と着装基準の関係については、男女とも、自分や他人の服装や流行に関心が高い者は、低い者よりも、外出着の着装基準において、個人的服装嗜好や流行、社会的服装規範を重視していた。また、全てで統計的に有意な差は認められなかったが、機能性に関しても重視する傾向にあった。西藤・中川（2004）は、中高年女性の服装に対するおしゃれ意識と規範意識を調査した結果から、中高齢女性の服装観は、機能性とともに関心しさを表現することを重視していること、またおしゃれ意識が高い人でも、規範に応じた服装を心がけるなど、服装規範から逸脱しない範囲で、おしゃれに積極的であることを報告している。本研究の結果からも、服装や流行への関心が高い高齢者は、外出着の着装基準において、個人的服装の嗜好性や流行、機能性を重視すると同時に、社会的規範についても高い意識を持っていることが示唆された。またその傾向は男女同様であった。

最後に、服装や流行への関心と高齢者の行動、QOLとの関連を考察する。過去の実践的研究によって得られた知見からは、高齢者にとって装うことが、日常生活の活性化を導き、情動などの心理的側面に対しても良い影響を与えることが確認されている。例えば、山岸（2000）は、特別養護老人ホーム入居者2名に対して、ファッションコーディネートにより装いの工夫の働きかけを実施して日常の様子を経過観察した結果、対象者が、心身の不

調を訴えることも少なくなり、精神面も活性化していることや、おしゃれをすることで、自己の感情表出が豊かになり、職員に対して自分から進んでコミュニケーションをとるようになったことなどを報告している。同様に、京都市の老人福祉施設において、高齢者のファッションショーを実施した実証的な研究（上野ら、2002）では、ファッションショーが、高齢者の情動の活性化に刺激となり得ることや、日常生活の目標や生き甲斐につながるということが明らかにされている。本研究の調査結果からも、自分や他人の服装や流行に対して関心の高い高齢男女は、低い者と比較して、積極的に町内会活動やボランティア活動に参加していること、活動能力が高いこと、メンタルヘルスが良く、生きがい感が高いことが示された。厚生労働省が2000年より実施している21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）の中でも、健康寿命の延伸を図っていく上で、社会活動に積極的に参加することや生き甲斐を持つこと、心の健康を良い状態で保つことの重要性が唱えられている（財団法人健康・体力づくり事業財団、2000）。

本調査研究の結果や実証的な先行研究の知見を踏まえると、装いに関心を持つことは、情動や行動の活性化を通して、高齢期のQOLの維持・増進に対して良い影響を与えるだろう。

2. 高齢者の装いへの関心や行動と QOL の関連（定性データによる検討）

2-1. 目的

本研究は、自由記述式の質問紙調査や高齢者ファッションショーの視察及び参加者への調査により得られた定性的データから、装い行動が高齢者の QOL にどのような影響を与えるのかについて検討することを目的とした。

2-2. 方法

本調査では、65 歳以上の高齢者 216 名（男性 110 名；平均年齢 70.6 ± 3.8 歳、女性 106 名；平均年齢 69.5 ± 4.1 歳）を対象に「あなたにとってファッションとはどういう意味をもちますか」と尋ね、自由記述で回答を求めた。また、高齢者との比較対照として 20-39 歳までの若年者 209 名（男性 109 名；平均年齢 32.3 ± 5.4 歳、女性 100 名；平均年齢 32.0 ± 5.2 歳）、40-59 歳までの中年者 217 名（男性 108 名；平均年齢 49.3 ± 6.7 歳、女性 109 名；平均年齢 47.4 ± 6.1 歳）に対しても同様の質問を行った。分析は、年代、性別毎に得られた自由記述回答の単語を抽出し、ランキング化した。更に、その単語を係り受ける語の組み合わせについて検討した。また、2010 年 12 月 12 日に兵庫県姫路市で開催された「こだわりシニアファッションショー」を視察し、参加高齢者のショーへの参加動機や参加後の心理的变化などについて調査した。具体的には、モデルとして参加した高齢者 23 名（男性 5 名；平均年齢 74.4 ± 8.2 歳、女性 18 名；平均年齢 69.7 ± 5.3 歳）を対象に、「ファッションショーに参加したきっかけは、どのような理由ですか」「ファッションショーに参加した感想はいかがでしたか」「あなたにとってファッションとは、どういう意味をもっていますか」の 3 つについて尋ねた。

2-3. 結果

2-3-1. 高齢者にとってのファッションの意味

「あなたにとってファッションとはどういう意味をもちますか」という質問に対する自由記述回答から、単語及びその単語を係り受ける語の組み合わせを抽出し、出現数別にランキング化した(表 2-1、表 2-2)。高齢男性において、出現数の多かった単語の上位 3 つは、「身だしなみ」「自分」「表現」であった。「自分」「表現」という単語に関しては、若年男性、中年男性でも上位に出現していたが、「身だしなみ」は、高齢男性においては最も出現数が多かったが、若年男性では 6 位、中年男性では 11 位と比較的低位であった。高齢女性では、「自分」「表現」「もの」が上位を占めた。これは、若年女性、中年女性でもほぼ同様の傾向を示した。しかし、高齢女性で 4 位の「おしゃれ」という単語は、若年女性の 21 位、中年女性の 16 位と比較して高位であった。また、単語と係り受け語の組み合わせとしては、高齢男性では、「自己+表現」「個性+表現」「意味+持つ」が、高齢女性では、「自分+表現」「自分+個性」「個性+表現」が上位であった。

表2-1. 高齢者にとってのファッションの意味（単語の出現数）

男性						
65歳以上			20～39歳		40～64歳	
順位	単語	出現数	出現数	順位	出現数	順位
1	身だしなみ	16	6	(6)	4	(11)
2	自分	14	13	(1)	15	(1)
3	表現	11	9	(3)	12	(2)
4	もの	10	11	(2)	2	(23)
5	おしゃれ	8	7	(5)	2	(24)
6	個性	7	5	(8)	10	(3)
6	意味	7	3	(12)	10	(4)
6	あまり	7	1	(42)	9	(6)
9	自己表現	6	6	(7)	9	(5)
9	自己主張	6	4	(10)	5	(9)

女性						
65歳以上			20～39歳		40～64歳	
順位	単語	出現数	出現数	順位	出現数	順位
1	自分	36	46	(1)	47	(1)
2	表現	17	22	(3)	23	(2)
2	もの	17	29	(2)	19	(3)
4	おしゃれ	11	2	(21)	4	(16)
5	人	10	3	(15)	4	(15)
6	生活	9	1	(43)	7	(7)
6	身だしなみ	9	1	(38)	5	(12)
8	個性	8	11	(5)	6	(9)
9	服装	7	—	—	1	(68)
10	思う	6	—	—	7	(8)
10	流行	6	—	—	4	(17)
10	ファッション	6	—	—	3	(23)

表2-2. 高齢者にとってのファッションの意味（単語+係り受け語の出現数）

男性						
65歳以上			20～39歳		40～64歳	
順位	単語+係り受け語	出現数	出現数	順位	出現数	順位
1	自己+表現	3	4	(1)	8	(1)
1	個性+表現	3	—	—	3	(3)
1	意味+持つ	3	—	—	2	(8)
4	自分+表現	2	1	(7)	4	(2)
4	その時+おく	2	—	—	—	—
4	一端+思う	2	—	—	—	—
4	自分+存在	2	—	—	—	—

女性						
65歳以上			20～39歳		40～64歳	
順位	単語+係り受け語	出現数	出現数	順位	出現数	順位
1	自分+表現	9	5	(3)	12	(1)
2	自分+個性	5	1	(18)	2	(10)
3	個性+表現	4	1	(12)	1	(17)
4	自己+表現	3	9	(2)	11	(2)
4	表現+手段	3	2	(5)	6	(3)

2-3-2. こだわりシニアファッションショー参加者の感想

ファッションショーへの参加動機は、「思い出づくり」「ファッションに関心があって」「多くの人との交流を求めて」「自分を表現してみたい」「自分が楽しむため」「新しい事への挑戦」「友人・知人・家族のすすめで」などであった。また、参加した感想としては、「良い思い出となった」「楽しかった」「メイクもばっちりしてもらい幸せだった」「若返った」などの肯定的意見がほとんどであった。最後にあなたにとってのファッションとはどう意味をもつかについては、「楽しみ」「自分らしさの表現」「夢と憧れ」「元気で生きている証」「生活するうえの一部」「大切なもの」「自分をみせるもの」「自己満足」「空気とか食事のよなもの」「命の次に大切なもの」「若返れる秘訣」「心を豊かにするもの」「自己主張」などの意見がみられた。

2-4. 考察

先行研究において、装うことは、自己表現の重要な手段のひとつであることが指摘されている。例えば、施設入居高齢者のおしゃれへの関心と動機を検討した研究（石塚・小川、2006）では、おしゃれへの積極的動機として、「自分らしい装いをしたい」「他者から見られることへの意識がある」などの回答が多いことが報告されている。西藤・中川（2004）らの研究においても、中高年女性は、おしゃれ意識として、機能性ととも自分らしさを表現することを重視していることが指摘されている。本研究の「あなたにとってファッションとはどういう意味をもちますか」という質問に対する自由記述の回答を整理した結果からも同様の傾向が示され、男女ともに出現数の多かった上位 3 つの中には、「自分」「表現」という単語が含まれていた。また、単語と係り受け語の組み合わせとして、高齢男性では、「自己+表現」「個性+表現」「意味+持つ」が、高齢女性では、「自分+表現」「自分+個性」「個性+表現」が上位に挙がっていた。兵庫県姫路市で開催された「こだわりシニアファッションショー」にモデルとして参加された高齢者からも、ファッションショーへの参加動機として「自分を表現してみたい」などの感想がみられた。以上のような結果か

ら、高齢者にとっての装いとは、自己の表現の重要な手段であることが改めて確認された。

また、ファッションショーにモデルとして参加した高齢者に感想を尋ねたところ、「良い思い出となった」「楽しかった」「メイクもばっちりしてもらい幸せだった」「若返った」などの肯定的な意見がほとんどであった。箱井ら研究グループの実証的な研究（2001、2002）では、高齢者ファッションショーが、高齢者の情動や行動意欲の活性化に良い影響を与えることが報告されているが、本研究の結果もこの知見を支持するものであった。

以上のような結果から、高齢者にとってファッションは、自己表現の重要な手段であると同時に、情動の活性化に貢献する可能性を持つことが示唆された。

3. まとめ・謝辞

本研究は、装い行動が、高齢者の QOL にどのような影響を与えるのかについて、質問紙調査法による定量的アプローチと自由記述式調査による定性的アプローチの異なる 2 つの研究手法を用いて検討することを目的に研究を推進した。本研究から得られた結果は以下の通りである。

(1) 高齢女性は、高齢男性と比較して、自分及び他人の服装への関心や流行への関心が高く、外出着の着装基準においても、個人的服装嗜好、流行、機能性、社会的服装規範を重視する。

(2) 服装や流行への関心が高い高齢者は、低い高齢者と比較して、外出着の着装基準において、個人的服装嗜好や流行、機能性、社会的規範を重視する。

(3) 服装や流行への関心が高い高齢者は、低い高齢者と比較して、町内会活動やボランティア活動に積極的に参加していること、そして活動能力や生きがい感も高く、メンタルヘルスも良い。

(4) 高齢者にとっての装いとは、自己表現の重要な手段である。

(5) 装いは、高齢者の情動の活性化に貢献しうる可能性を持つ。

本研究は、横断的な調査研究であるため、それぞれの因果関係については慎重な解釈が必要である。今後は、縦断的研究や介入研究で、装いと QOL の因果関係を明らかにしていくことを課題としたい。

最後になりましたが、本研究への助成を賜りました文化学園大学文化ファッション研究機構に深く感謝致します。また、調査にご協力いただきました皆様、兵庫県姫路市交流振興局・生涯現役推進部の職員の方々、文化ファッション研究機構の職員の皆様に厚く御礼申し上げます。

4. 参考・引用文献

- 箱井英寿、上野裕子、泉加代子、福岡欣治、田中優（2001）高齢者のファッションセラピーに関する基礎的研究。第7回健康文化研究助成論文集、75-82.
- 箱井英寿・上野裕子・小林恵子（2001）高齢者の感情・行動意欲の活性化に関する基礎研究（第1報）—着装時における高齢者の感情・行動意欲の変化にかかわる要因の検討—。繊維機械学会誌、42、752-759.
- 箱井英寿・上野裕子・小林恵子（2002）高齢者の感情・行動意欲の活性化に関する基礎研究（第2報）—高齢者ファッションショーが高齢者の被服意識・行動に及ぼす効果—。繊維機械学会誌、43、749-757.
- 石塚敦子・小川妙子（2006）施設高齢者のおしゃれへの関心と動機。順天堂大学医療看護学部・医療看護研究、2、11-16.
- 小林茂雄（2000）老人ホームにおける衣生活とおしゃれ行動。繊維機械学会誌、53、229-236.
- 近藤勉・鎌田次郎（2004）高齢者の生きがい感に影響する性別と年代から見た要因。老年精神医学雑誌、15、1281-1290.
- 古谷野亘（1992）QOLの概念と測定。柴田博編、老人保健活動の展開。医学書院、東京。
- 古谷野亘、柴田博、中里克治、芳賀博、須山靖男（1987）地域老人における活動能力指標の測定—老研式活動能力指標の開発—。日本公衆衛生誌、34、109-114.
- 西藤栄子、中川早苗（2004）中高年女性のおしゃれ意識と規範意識。日本家政学会誌、55、743-751.
- 岡田宣子（2000）高齢者の衣生活行動の現状と要望点—被服の調達と選択行動を中心として—。日本家政学会誌、51、595-603.
- 劉敬淑・全璟蘭（2005）韓国10代の青少年の自尊心と身体満足度が生計や服装行動に及ぼす影響。日本家政学会誌、56、105-114.
- 柴田博（1996）高齢者のQuality of Life (QOL)。日本公衆衛生雑誌、43、941-945.

- 田中優、秋山学、泉加代子、上野裕子、西川正之、吉川聡一（1998）高齢者の自律と着装行動に関する研究．繊維機械学会誌、39、716－722.
- 上野裕子・箱井英寿・小林恵子（2002）高齢者の感情・行動意欲の活性化に関する基礎研究（第3報）－老人福祉施設におけるファッションショーが高齢者の情動活性に及ぼす影響＜高齢者の感想文より＞－．繊維機械学会誌、43、758－765.
- U.S. Department of Health and Human Services. (2000). Measuring healthy days, population assessment of Health-related Quality of Life. Atlanta, Georgia.
- 山岸裕美子（2000）特別養護老人ホームにおける装いの工夫の働きかけ－自然感情を中心とした試み－．繊維機械学会誌、53、237－243.
- 矢富直美（1994）日本老人における老人用うつスケール（GDS）短縮版の因子構造と項目特性の検討．老年社会科学、16、29－36.
- 財団法人健康・体力づくり事業財団（2000）健康日本21：21世紀における国民健康づくり運動．健康日本21企画検討会・健康日本21計画策定検討会報告書.

IV. 調查票

問1. あなたの基本的属性や日常の生活習慣についておうかがいします。それぞれの質問について、正しい数字を記入したり、あてはまる番号を○でかこんだりしてください。

A) あなたの年齢は? ----->

満	歳
---	---

B) 性別は? ----->

1. 男性	2. 女性
-------	-------

C) 一人暮らしですか? ----->

1. はい	2. いいえ
-------	--------

----->

1. 配偶者と二人暮らし 2. 配偶者とそれ以外の家族と同居 3. 配偶者以外の家族と同居

D) 経済状況は? ----->

1. 余裕がある
2. ふつう
3. 困っている

問2. あなたの日常生活の様子についておうかがいします。それぞれの質問について、あてはまる番号をひとつだけ○でかこんでください。

《介助が必要な場合は 2. を○でかこんでください》

A) 食事を自分でとることができますか。 ----->

1. できる	2. できない
--------	---------

B) 入浴は自分でできますか。 ----->

1. できる	2. できない
--------	---------

C) 衣服の着脱は自分でできますか。 ----->

1. できる	2. できない
--------	---------

D) トイレ（用を足すこと）は自分でできますか。
（服の上げ下げ、あとしまつを含みます） --->

1. できる	2. できない
--------	---------

E) 平らなところの歩行は自分でできますか。 ----->

1. できる 又は、補装具、 義足、杖を使って人の手 を借りずにできる	2. できない
---	---------

問3. 以下の質問は、**外出着**を選ぶ際の基準についておたずねするものです。それぞれの質問をよく読んでお答えください。ここでいう外出着とは、「**最近一ヶ月で外出された際に、あなたが着ていた服**」とします。

- | | |
|------------------------------|--|
| A) 自分の品位を傷つけない。 -----> | 1. 非常に重視する 2. かなり重視する 3. ある程度は重視する
4. あまり重視しない 5. まったく重視しない |
| B) 場所柄や雰囲気合っている。 -> | 1. 非常に重視する 2. かなり重視する 3. ある程度は重視する
4. あまり重視しない 5. まったく重視しない |
| C) 自分の好みに合っている。 -----> | 1. 非常に重視する 2. かなり重視する 3. ある程度は重視する
4. あまり重視しない 5. まったく重視しない |
| D) 自分らしさが表現できる。 -----> | 1. 非常に重視する 2. かなり重視する 3. ある程度は重視する
4. あまり重視しない 5. まったく重視しない |
| E) 周囲の人に失礼にならない。 -----> | 1. 非常に重視する 2. かなり重視する 3. ある程度は重視する
4. あまり重視しない 5. まったく重視しない |
| F) 時節にあっている。 -----> | 1. 非常に重視する 2. かなり重視する 3. ある程度は重視する
4. あまり重視しない 5. まったく重視しない |
| G) 自分の社会的地位・立場にふさわしい。 -----> | 1. 非常に重視する 2. かなり重視する 3. ある程度は重視する
4. あまり重視しない 5. まったく重視しない |
| H) 若々しく見える。 -----> | 1. 非常に重視する 2. かなり重視する 3. ある程度は重視する
4. あまり重視しない 5. まったく重視しない |
| I) デザイン・素材・色・柄などが流行している。 -> | 1. 非常に重視する 2. かなり重視する 3. ある程度は重視する
4. あまり重視しない 5. まったく重視しない |
| J) 目新しく人目を引く。 -----> | 1. 非常に重視する 2. かなり重視する 3. ある程度は重視する
4. あまり重視しない 5. まったく重視しない |
| K) 自分をひきたてることができる。-> | 1. 非常に重視する 2. かなり重視する 3. ある程度は重視する
4. あまり重視しない 5. まったく重視しない |

- L) 洗濯や手入れが簡単である。----->
- | | | |
|-------------|--------------|--------------|
| 1. 非常に重視する | 2. かなり重視する | 3. ある程度は重視する |
| 4. あまり重視しない | 5. まったく重視しない | |
- M) 着たり脱いだりするのが楽である。
- | | | |
|-------------|--------------|--------------|
| 1. 非常に重視する | 2. かなり重視する | 3. ある程度は重視する |
| 4. あまり重視しない | 5. まったく重視しない | |
- N) 活動しやすい。----->
- | | | |
|-------------|--------------|--------------|
| 1. 非常に重視する | 2. かなり重視する | 3. ある程度は重視する |
| 4. あまり重視しない | 5. まったく重視しない | |
- O) 着心地がよい。----->
- | | | |
|-------------|--------------|--------------|
| 1. 非常に重視する | 2. かなり重視する | 3. ある程度は重視する |
| 4. あまり重視しない | 5. まったく重視しない | |
- P) 伝統やしきたりにあっている。---->
- | | | |
|-------------|--------------|--------------|
| 1. 非常に重視する | 2. かなり重視する | 3. ある程度は重視する |
| 4. あまり重視しない | 5. まったく重視しない | |
- Q) 周囲の人と同じような服装である。
- | | | |
|-------------|--------------|--------------|
| 1. 非常に重視する | 2. かなり重視する | 3. ある程度は重視する |
| 4. あまり重視しない | 5. まったく重視しない | |
- R) 自分の性や年齢にあっている。---->
- | | | |
|-------------|--------------|--------------|
| 1. 非常に重視する | 2. かなり重視する | 3. ある程度は重視する |
| 4. あまり重視しない | 5. まったく重視しない | |
- S) 周囲の人から信用を損なわない。
- | | | |
|-------------|--------------|--------------|
| 1. 非常に重視する | 2. かなり重視する | 3. ある程度は重視する |
| 4. あまり重視しない | 5. まったく重視しない | |

問4. 自分自身のファッションに関心がありますか？

- | | | | |
|-------------|---------------|-------------|--------------|
| 1. 非常に関心がある | 2. ある程度は関心がある | 3. あまり関心がない | 4. まったく関心がない |
|-------------|---------------|-------------|--------------|

問5. 仲間や他人のファッションに関心がありますか？

- | | | | |
|-------------|---------------|-------------|--------------|
| 1. 非常に関心がある | 2. ある程度は関心がある | 3. あまり関心がない | 4. まったく関心がない |
|-------------|---------------|-------------|--------------|

問6. 流行に関心がありますか？

- | | | | |
|-------------|---------------|-------------|--------------|
| 1. 非常に関心がある | 2. ある程度は関心がある | 3. あまり関心がない | 4. まったく関心がない |
|-------------|---------------|-------------|--------------|

問7. 女性の方のみにおたずねします。毎日、お化粧品をおこないますか？

- | | | |
|---------------|-----------------|-------------|
| 1. ほとんど毎日おこなう | 2. 外出するときのみおこなう | 3. まったく行わない |
|---------------|-----------------|-------------|

問8. 男性の方のみにおたずねします。毎日、髭剃りをおこないますか？

- | | | |
|---------------|-----------------|-------------|
| 1. ほとんど毎日おこなう | 2. 外出するときのみおこなう | 3. まったく行わない |
|---------------|-----------------|-------------|

問9. あなたの日ごろの外出の状況についてお聞きします。あなたは、おおよそ週に何日ぐらい外出しますか？（旅行や入院などをしていないふだんの1週間についてお答えください）

- | | | | | |
|-----------|------------|------------|-----------|---------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週に4, 5日 | 3. 週に2, 3日 | 4. 週に1日程度 | 5. 全くなし |
|-----------|------------|------------|-----------|---------|

問10. 現在、ボランティア活動や町内会の活動などに参加していますか？

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 参加している | 2. 参加していない |
|-----------|------------|

問11. あなたがご自分の健康をどのように考えておられるかについておたずねします。それぞれの質問をよく読んで、お答えください。

A) 全体的にみて、過去1カ月間のあなたの健康状態はいかがでしたか。
(一番よくあてはまる番号をひとつだけ○でかこんでください)

- | | | | | | |
|--------------|--------------|-------|----------------|---------|-----------------|
| 1. 最高に
良い | 2. とても
良い | 3. 良い | 4. あまり良
くない | 5. 良くない | 6. ぜんぜん
良くない |
|--------------|--------------|-------|----------------|---------|-----------------|

B) 過去1カ月間に、体を使う日常活動（歩いたり階段を昇ったりなど）をすることが身体的な理由でどのくらいさまたげられましたか。

- | | | | | |
|---------------------------|------------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------------|
| 1. ぜんぜん
さまたげられ
なかった | 2. わずかに
さまたげ
られた | 3. すこし
さまたげ
られた | 4. かなり
さまたげ
られた | 5. 体を使う
日常活動が
できなかった |
|---------------------------|------------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------------|

C) 過去1ヵ月間に、いつもの仕事（家事も含みます）をすることが、身体的な理由でどのくらいさまたげられましたか。

1. ぜんぜん さまたげられ なかった	2. わずかに さまたげ られた	3. すこし さまたげ られた	4. かなり さまたげ られた	5. いつもの 仕事が できなかった
---------------------------	------------------------	-----------------------	-----------------------	--------------------------

D) 過去1ヵ月間に、体の痛みはどのくらいありましたか。

1. ぜんぜん なかった	2. かすかな 痛み	3. 軽い 痛み	4. 中くらいの 痛み	5. 強い 痛み	6. 非常に 激しい 痛み
-----------------	---------------	-------------	----------------	-------------	---------------------

E) 過去1ヵ月間、どのくらい元気でしたか。

1. 非常に 元気だった	2. かなり 元気だった	3. すこし 元気だった	4. わずかに 元気だった	5. ぜんぜん 元気でなかった
-----------------	-----------------	-----------------	------------------	--------------------

F) 過去1ヵ月間に、家族や友人とのふだんのつきあいが、身体的あるいは心理的な理由でどのくらいさまたげられましたか。

1. ぜんぜん さまたげられ なかった	2. わずかに さまたげ られた	3. すこし さまたげ られた	4. かなり さまたげ られた	5. つきあいが できなかった
---------------------------	------------------------	-----------------------	-----------------------	--------------------

G) 過去1ヵ月間に、心理的な問題（不安を感じたり、気分が落ち込んだり、イライラしたり）に、どのくらい悩まされましたか。

1. ぜんぜん悩ま されなかった	2. わずかに 悩まされた	3. 少し 悩まされた	4. かなり 悩まされた	5. 非常に 悩まされた
---------------------	------------------	----------------	-----------------	-----------------

H) 過去1ヵ月間に、日常行う活動（仕事、学校、家事などのふだんの行動）が、心理的な理由でどのくらいさまたげられましたか。

1. ぜんぜん さまたげられ なかった	2. わずかに さまたげ られた	3. すこし さまたげ られた	4. かなり さまたげ られた	5. 日常行う 活動が出 来なかった
---------------------------	------------------------	-----------------------	-----------------------	--------------------------

問12. 次にあなたの日常の活動性についておうかがいします。それぞれの質問について、
あてはまる番号をひとつだけ○でかこんでください。

- A) バスや電車を使って一人で外出できますか。 ---->

1. はい	2. いいえ
-------	--------
- B) 日用品の買い物ができますか。 ----->

1. はい	2. いいえ
-------	--------
- C) 自分で食事の用意ができますか。 ----->

1. はい	2. いいえ
-------	--------
- D) 請求書の支払いができますか。 ----->

1. はい	2. いいえ
-------	--------
- E) 銀行預金・郵便貯金の出し入れができますか。
(機械で出し入れできなくても、窓口などで --->

1. はい	2. いいえ
-------	--------

できる場合は 1. です)
- F) 年金などの書類が書けますか。 ----->

1. はい	2. いいえ
-------	--------
- G) 病人を見舞うことができますか。 ----->

1. はい	2. いいえ
-------	--------
- H) 新聞を読んでいますか。 ----->

1. はい	2. いいえ
-------	--------
- I) 本や雑誌を読んでいますか。 ----->

1. はい	2. いいえ
-------	--------
- J) 健康についての記事や番組に関心があり
ますか。 ----->

1. はい	2. いいえ
-------	--------
- K) 友達の家を訪ねることがありますか。 ----->

1. はい	2. いいえ
-------	--------
- L) 家族や友達の相談にのることがありますか。 ---->

1. はい	2. いいえ
-------	--------
- M) 若い人に自分から話しかけることがあります
か。(家族や単なるあいさつは除きます) ---->

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問13. ここ 2 週間のあなたの様子について伺います。以下の各項目を読んで、それぞれ「はい」「いいえ」のうち、あてはまるほうに○印をつけてください。

- A) 自分の生活に満足していますか。 ---->

1. はい	2. いいえ
-------	--------
- B) これまでやってきたことや興味のあったことの多くを、最近やめてしまいましたか。 ---->

1. はい	2. いいえ
-------	--------
- C) 自分の人生はむなしいと感じますか。 ----->

1. はい	2. いいえ
-------	--------
- D) 退屈と覚えることがありますか。 ----->

1. はい	2. いいえ
-------	--------
- E) ふだんは気分はよいほうですか。 ----->

1. はい	2. いいえ
-------	--------
- F) 自分にはなにか悪いことが起こるかもしれないという不安がありますか。 --->

1. はい	2. いいえ
-------	--------
- G) あなたはいつも幸せと感じていますか。 --->

1. はい	2. いいえ
-------	--------
- H) 自分は無力と覚えることがよくありますか。 --->

1. はい	2. いいえ
-------	--------
- I) 外に出て新しい物事をするより、家の中にいるほうが好きですか。 --->

1. はい	2. いいえ
-------	--------
- J) ほかにの人に比べて記憶力が落ちたと感じますか。 --->

1. はい	2. いいえ
-------	--------
- K) いま生きていることは、素晴らしいことと思えますか。 --->

1. はい	2. いいえ
-------	--------
- L) 自分の現在の状態はまったく価値のないものと感じますか。 ----->

1. はい	2. いいえ
-------	--------
- M) 自分は活力が満ちあふれていると感じますか。 --->

1. はい	2. いいえ
-------	--------
- N) いまの自分の状況は希望のないものと感じますか。 ----->

1. はい	2. いいえ
-------	--------
- O) ほかに人はあなたより恵まれた生活をしていると思えますか。 ----->

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問14. 以下の質問は、あなたの現在の気持ちをおたずねするものです。読んでいただいて、「はい」「どちらでもない」「いいえ」のいずれかを○でかこんでください。

- A) 私には家庭の内または外で役割がある。 ----> 1. はい 2. どちらでもない 3. いいえ
- B) 毎日を何となく惰性に過ごしている。 ----> 1. はい 2. どちらでもない 3. いいえ
- C) 私には心のよりどころ、励みとするものがある。--> 1. はい 2. どちらでもない 3. いいえ
- D) 何もがむなしと思うことがある。 -----> 1. はい 2. どちらでもない 3. いいえ
- E) 私にはまだやりたいことがある。 -----> 1. はい 2. どちらでもない 3. いいえ
- F) 自分が向上したと思えることがある。 -----> 1. はい 2. どちらでもない 3. いいえ
- G) 私がいなければ駄目だとおもうことがある。 ---> 1. はい 2. どちらでもない 3. いいえ
- H) 今の生活に張り合いを感じている。 ---> 1. はい 2. どちらでもない 3. いいえ
- I) 何のために生きているのかわからないと思うことがある ---> 1. はい 2. どちらでもない 3. いいえ
- J) 私は世の中や家族のためになることをしていると思う。 ---> 1. はい 2. どちらでもない 3. いいえ
- K) 世の中がどうなっていくのか、もっと見ていきたいと思う。 ---> 1. はい 2. どちらでもない 3. いいえ
- L) 今日は何をして過ごそうかと困ることがある。---> 1. はい 2. どちらでもない 3. いいえ
- M) まだ死ぬわけにはいかないと考えている。 ---> 1. はい 2. どちらでもない 3. いいえ
- N) 他人から認められ評価されたと思えることがある。 1. はい 2. どちらでもない 3. いいえ
- O) 何かをなしとげたと思えることがある。 ----> 1. はい 2. どちらでもない 3. いいえ
- P) 私は家族や他人から期待され頼りにされている。---> 1. はい 2. どちらでもない 3. いいえ